

## 第8章



## 資料編

- 1 板橋区のみどりの現況
- 2 みどりに関する区民意識
- 3 みどりに関する子どもの意識
- 4 計画の策定経過
- 5 用語解説

# 8 資料編

---

## 本計画の参考資料

### 板橋区のみどりの 現況

- 板橋区の現在のみどりの状況として、植生被覆率や緑被率、生物の生息・生育空間の状況、都市公園の整備状況を示します。

### みどりに関する 区民意識

- いたばしグリーンプラン2035の策定に先立って実施した緑に関する区民アンケートの実施概要と結果を示します。

### みどりに関する 子どもの意識

- いたばしグリーンプラン2035の策定に先立って実施した緑に関する子どもアンケートの実施概要と結果を示します。

### 計画の策定経過

- いたばしグリーンプラン2035策定に向けて実施した各種会議などの開催経過を示します。

### 用語解説

- いたばしグリーンプラン2035に用いた専門用語などについて解説します。

# 1 板橋区のみどりの現況

## (1) 植生被覆率・緑被率・みどり率の変化

- 令和元（2019）年度と令和6（2024）年度の調査時における各指標の数値は以下のようになっています。
- 調査時点における緑被率は、23区の中で上位から概ね9番目の調査値となっています（区によって調査年次が異なるため、正確な比較ではありません）。

表 植生被覆率・緑被率・みどり率

指標区分	令和元年	令和6年	増減	精度	対象とする緑地
植生被覆率	18.1%	18.6%	0.5%	0.01 m <sup>2</sup>	植生に被われた区域
緑被率	19.4%	18.8%	▲0.6%	1 m <sup>2</sup>	（樹木被覆地＋草地＋農地＋屋上緑化）区域
樹木被覆地率	13.6%	12.9%	▲0.7%	1 m <sup>2</sup>	樹木に被われた区域
草地率	4.9%	5.1%	0.2%	1 m <sup>2</sup>	草本類で被われた区域
農地率	0.6%	0.5%	▲0.1%	1 m <sup>2</sup>	農地（樹木畑・果樹園含む）
屋上緑化率	0.3%	0.3%	0.0%	1 m <sup>2</sup>	屋上（人工地盤上）緑化地
みどり率	23.4%	22.8%	▲0.5%	1 m <sup>2</sup>	（公園の全区域＋緑被地※＋水面※）区域 ※公園区域に含まれないもの

小数第2位で四捨五入しているため、増減値が合わない場合がある。

※緑被地減少の内訳

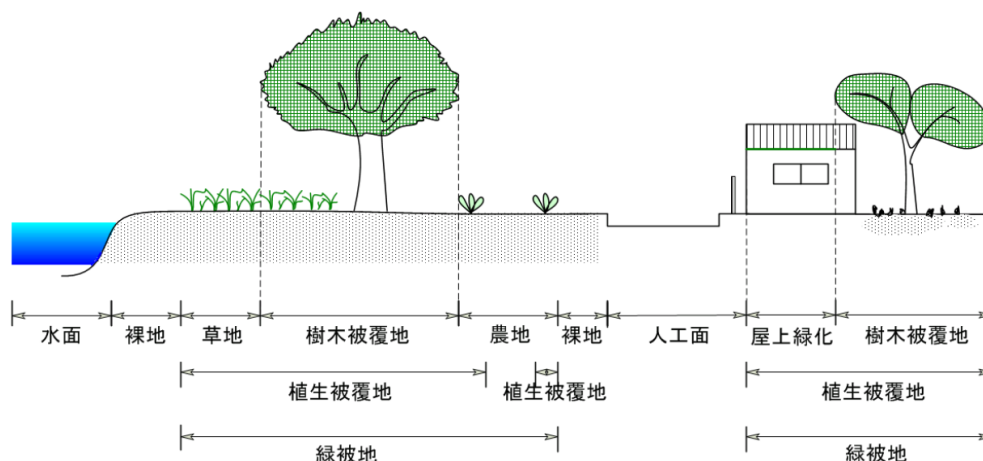
- ・公園運動場等：▲7.45ha（都立・区立公園等の樹木の剪定等による）
- ・独立住宅：▲5.88ha（屋敷林等の消失による）
- ・農業用地：▲3.36ha（畑、樹園地等の消失による）

出典：板橋区緑地・樹木の実態調査（XI）令和6年度

### 図 植生被覆地・緑被地の模式図

#### ■植生被覆率と緑被率の増減について

植生被覆率は航空写真から植生を画像処理により当初抽出されたものでノイズを含み、緑被率は植生被覆率を基に、更に目視判読により区分したものであるため、各増減の傾向が異なる場合がある。



※緑被地＝樹木被覆地＋草地＋農地＋屋上緑化

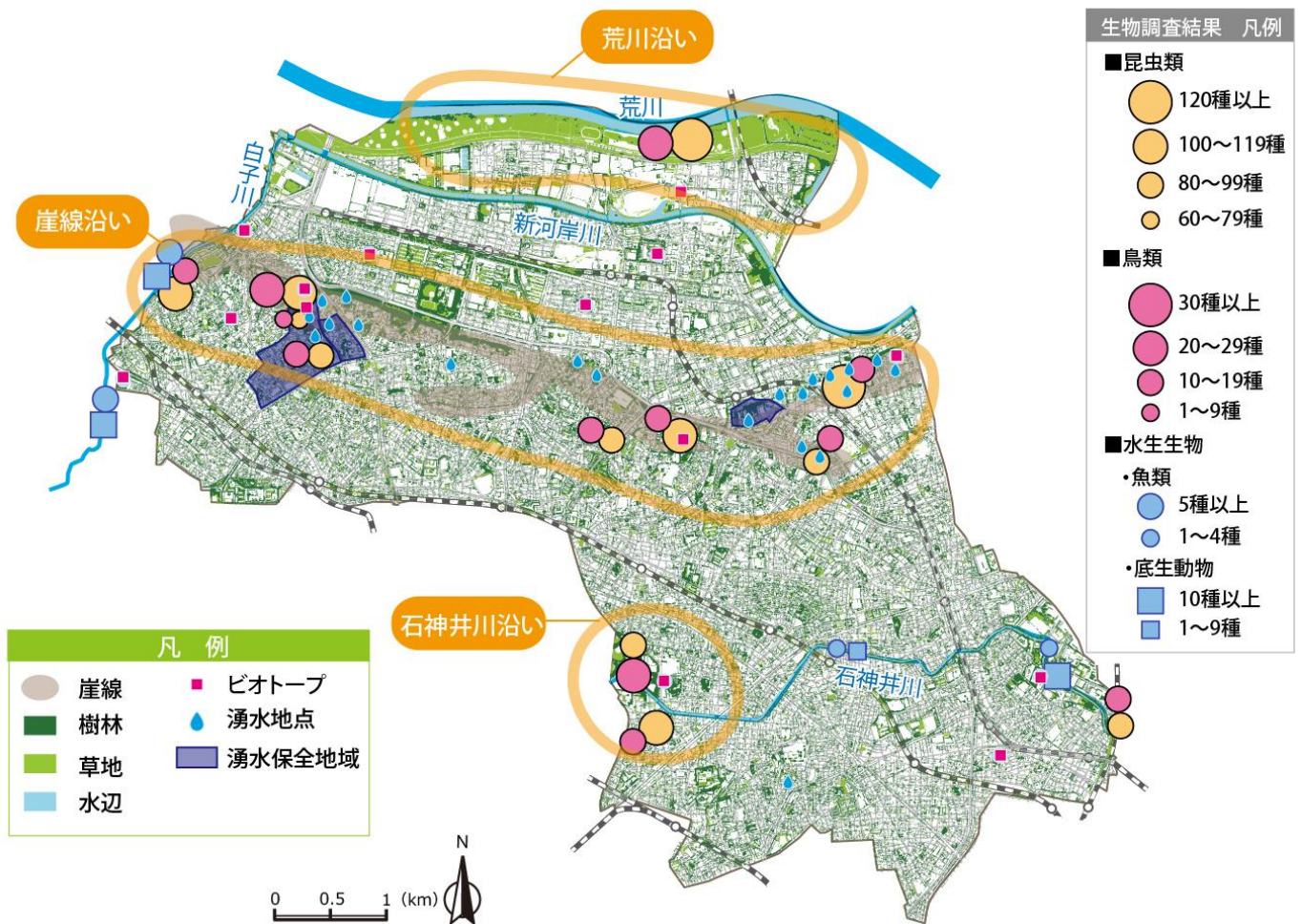
※植生被覆地＝植生指数が一定以上を示している植生（緑）に覆われている箇所

※人工面＝緑被地、裸地、水面以外の箇所

## (2) 生物の生息・生育空間

- 崖線に残る樹林や公園、河川や池は、多様な生物の生息・生育空間として重要な役割を担っています。
- 板橋区が令和6（2024）年度の春季・夏季・秋季にそれぞれ区内12か所で実施した調査によると、陸上では昆虫類311種、鳥類60種が確認されています。また、白子川（令和6（2024）年度）及び石神井川（令和7（2025）年度）では、魚類15種・底生動物36種が確認されています。
- 広大な草地在る荒川沿いや、良好な樹林が見られる崖線沿い（特に赤塚植物園、赤塚溜池公園付近）では、多くの種が確認されています。また大規模な公園である都立城北中央公園でも、比較的多くの種が確認されています。

図 生物の生息・生育の場の形成



この地図は、東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成したものである。（承認番号 MMT 利許第07-K119-6号）

生物調査データ出典

- ・ 昆虫類、鳥類：「板橋区生物多様性に関する基礎調査（令和6年度）」
- ・ 水生生物：「令和6年度白子川生物調査報告書」、  
「令和7年度石神井川生物調査報告書」

### (3) 都市公園の整備状況

- 都市公園法に基づく都市公園（都立公園を含む）の現況は、下記の状況です。
- 区民一人当たりの公園面積は、23区中で上位から7番目となっています。
  - ・公園率：区面積に対する都市公園面積の占める割合。公園面積計÷区面積（都市公園面積には区立公園、都立公園、国営公園を含む。）
  - ・区民1人当たりの公園面積：公園面積計÷人口
  - ・原則として、1つの公園が2区にまたがる場合、公園の数は、面積の占める割合の大きい方の区に計上している。そのため、区内に位置する都立公園4公園を全て計上したP15の公園数346か所とは異なります。

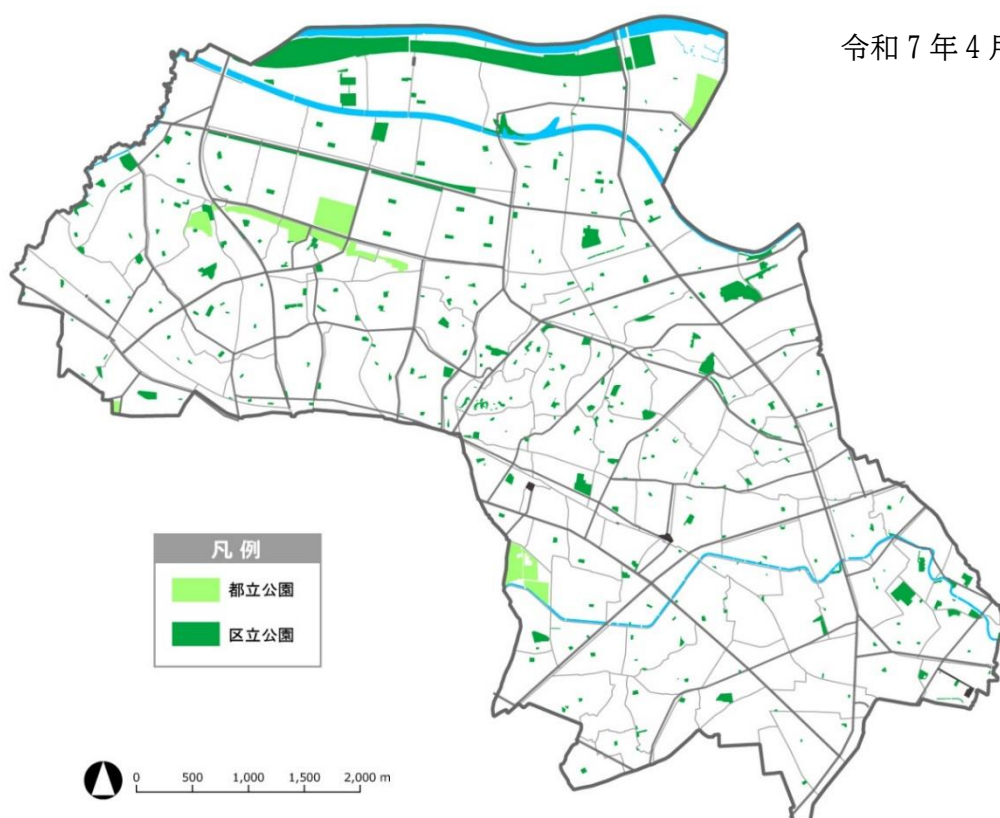
表 都市公園の整備状況

各年4月1日現在

	平成29年	令和7年	増減
公園数	347か所	344か所	3か所減
（内訳）都立公園	2か所	2か所	変化なし
区立公園	345か所	342か所	3か所減
公園面積（都立含む）	1.892km <sup>2</sup>	1.898km <sup>2</sup>	0.006km <sup>2</sup> 増
区面積	32.22km <sup>2</sup>	32.22km <sup>2</sup>	変化なし
人口（外国人含む）	571,154人	594,444人	23,290人増
公園率	5.87%	5.89%	0.02%増
一人当たりの公園面積	3.31(m <sup>2</sup> /人)	3.19(m <sup>2</sup> /人)	0.12(m <sup>2</sup> /人)減

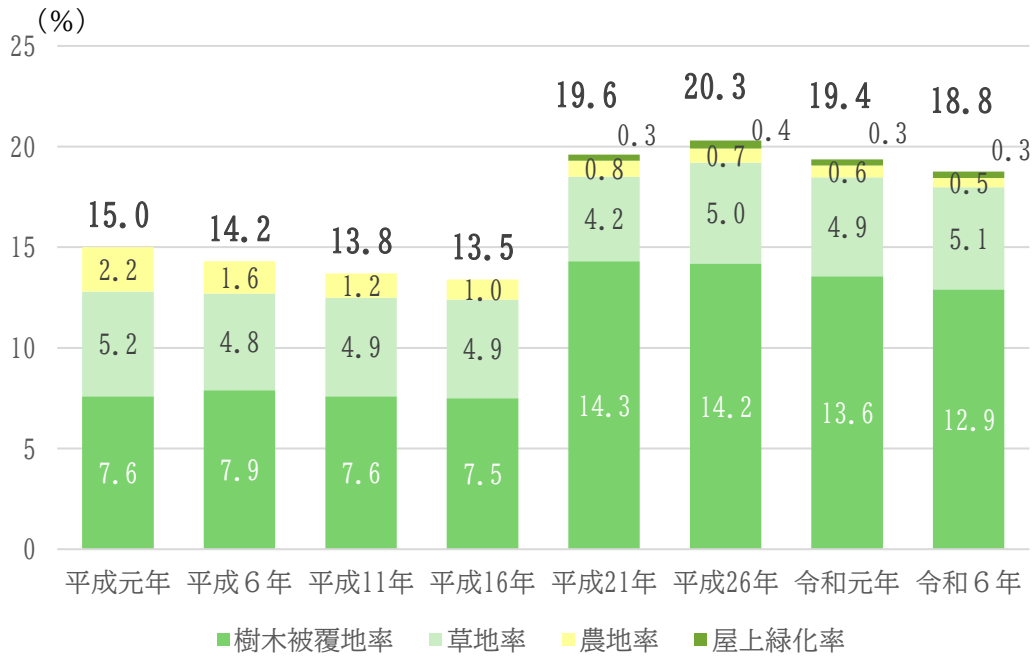
資料：東京都都市公園等区市町村別面積・人口割比率表

図 都市公園等の整備状況



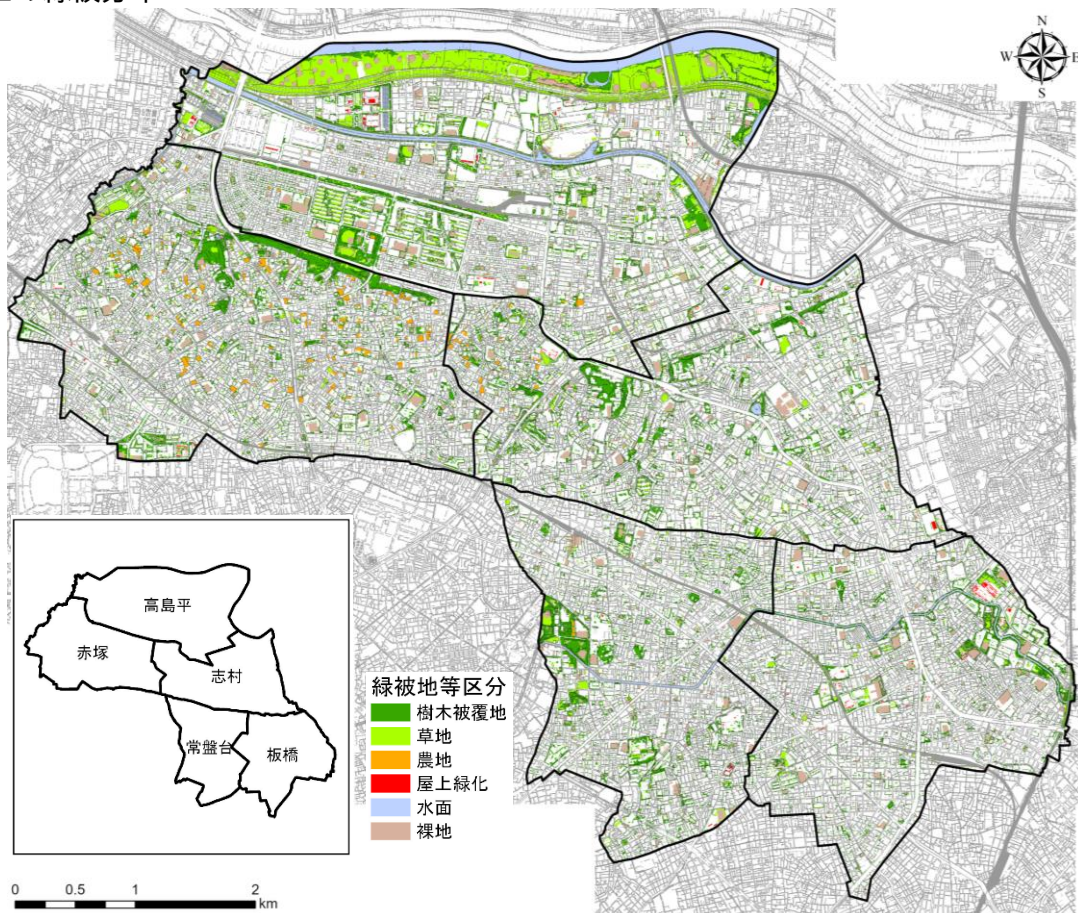
## (4) 緑被率の推移と緑被分布

図 板橋区の緑被率の推移



※図中の平成元年から平成16年までは精度100㎡、平成21年以降は精度1㎡の緑被率の値

図 板橋区の緑被分布



この地図は、東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成したものである。(承認番号) (MMT 利許第06-119号)

資料：板橋区緑地・樹木の実態調査 (XI) 令和6年度

## 2 みどりに関する区民意識

### (1) 緑に関する区民アンケート概要

- 緑の基本計画改定に向け、区民の緑に関する意識を調査し、計画に反映するため、15歳以上の板橋区民に対して（無作為に3,000名を抽出）アンケートを行いました。
- アンケートは全28問で構成されており、問1～問12が「緑の基本計画」に関する調査、問13～問23までが「パークマネジメント」に関する調査となっています。また問24～28までは回答者についての質問となっています。
- アンケートの概要と緑の基本計画に関するアンケート結果は以下の通りです。

表 区民アンケートの調査概要

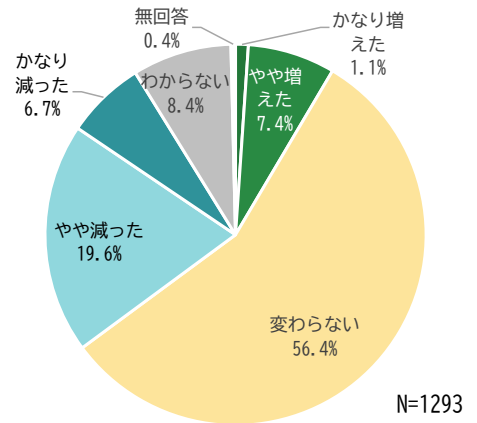
調査期間	令和6年11月1日～11月15日
調査対象者	15歳以上の板橋区民 及び 板橋区ホームページ閲覧者
配布地域	板橋区内全域
配布回収方法	郵送配布、自記入郵送回収もしくは Web アンケートフォームへの記入
配布数	3,000通（15歳以上の板橋区民を対象とした無作為抽出）
回収数	総合計 1,293通回収 内訳：紙面回答による郵送回収 923通 Web 回答 346通 板橋区ホームページ経由による回答 24通
回収率	42.3%（板橋区ホームページ経由による回答を除いた回収率）

## (2) アンケート結果（抜粋）

### 1) 緑の量や質について

- 最近5年間で、お住まいのまわりのみどりの量は、どのように変わりましたか。

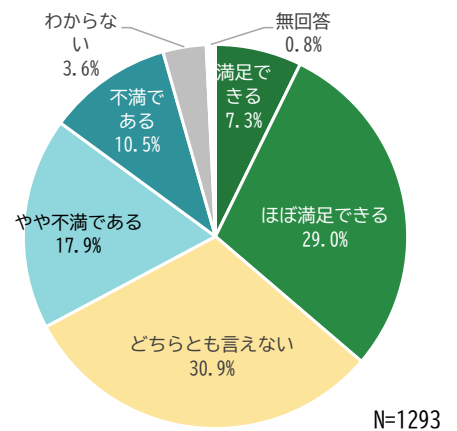
「変わらない」が56%を占め最も多く、「やや減った」「かなり減った」をあわせて26%、「かなり増えた」「やや増えた」をあわせて9%でした。



- お住まいのまわりのみどりは、「地域の魅力を高める」という点からみて、満足できますか。

「満足できる・ほぼ満足できる」が36%、「やや不満である・不満である」が27%、どちらとも言えないが31%と、ほぼ均衡した結果でした。

グリーンプラン 2025 の目標値であるみどりの満足度 40% に対して、「満足できる」と「ほぼ満足できる」で合わせて 36.3%となっており、目標値に届いていません。

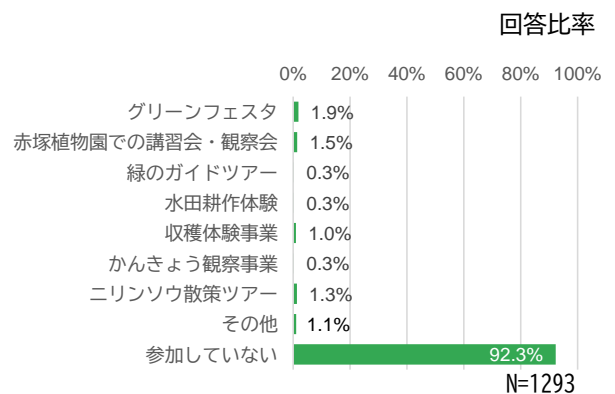


### 2) 区の実施している取組についての関わりについて

- 5年間の中で、みどりに関わるイベントに参加したことがありますか。（あてはまるもの全てを選択）

参加した人の中では、多い方から順にグリーンフェスタ、赤塚植物園での講習会・観察会、ニリンソウ散策ツアーとなっています。

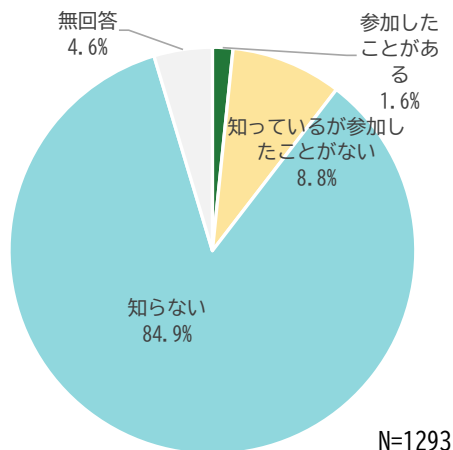
「参加していない」が92%となっています。



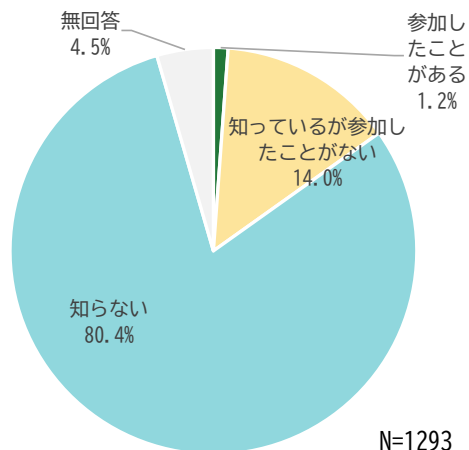
- 公園等を区民と協働して管理する取組についてご存知ですか。

- 地域がつくる公園制度を知っている人は全体の10%となっています。
- 花づくりグループを知っている人は全体の15%となっています。
- 公園刈り込みボランティアを知っている人は全体の11%となっています。
- 板橋森林ボランティアを知っている人は全体の7%となっています。

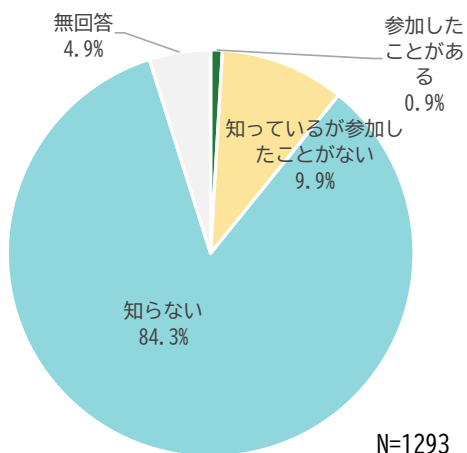
地域がつくる公園制度の認知度



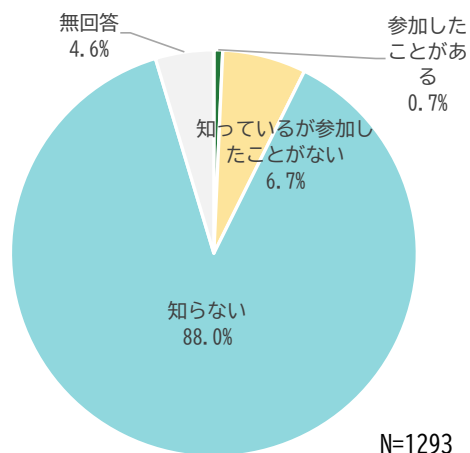
花づくりグループの認知度



公園刈り込みボランティアの認知度



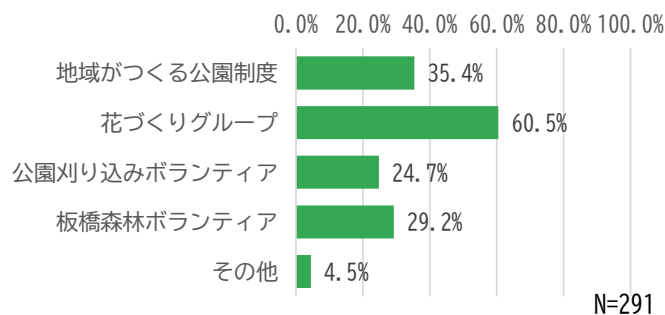
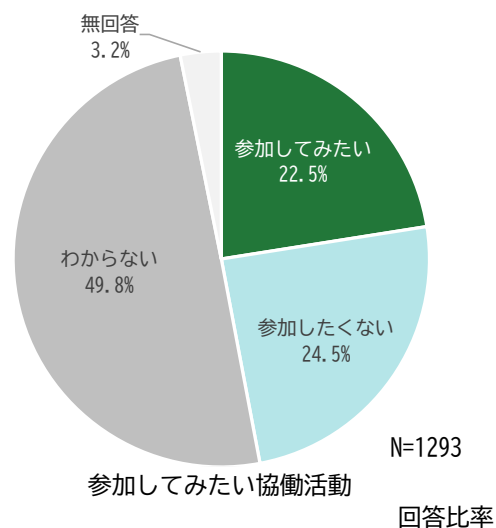
板橋森林ボランティアの認知度



■ みどりや公園に関する協働活動に参加してみたいと思いますか？

「参加してみたい」が23%、「参加したくない」が25%となっており、「参加してみたい」が「参加したくない」を2ポイント下回っています。

「参加してみたい人」の中では、花づくりグループに参加してみたい人が61%と最も多く、地域がつくる公園制度が35%、森林ボランティアが29%、公園刈り込みボランティアが25%となっています。

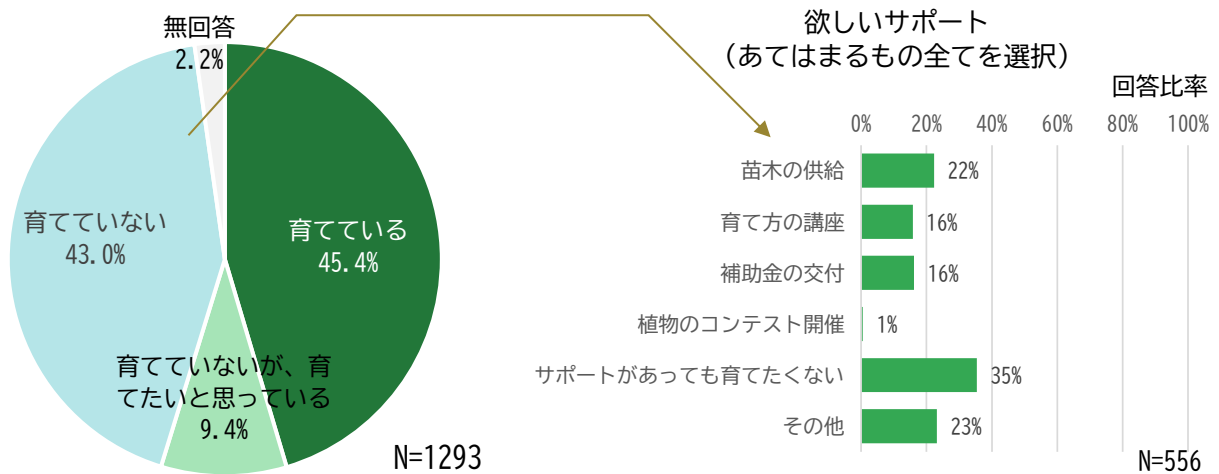


### 3) 区民の緑化の取組について

- ご自宅でみどり（芝生、畑等も含む）を育てていますか？  
どのようなサポートがあったら育てたいと思いますか？

「育てている」「育てていないが、育てたいと思っている」併せて 55%となっており、「育てていない」人の 43%を上回っています。

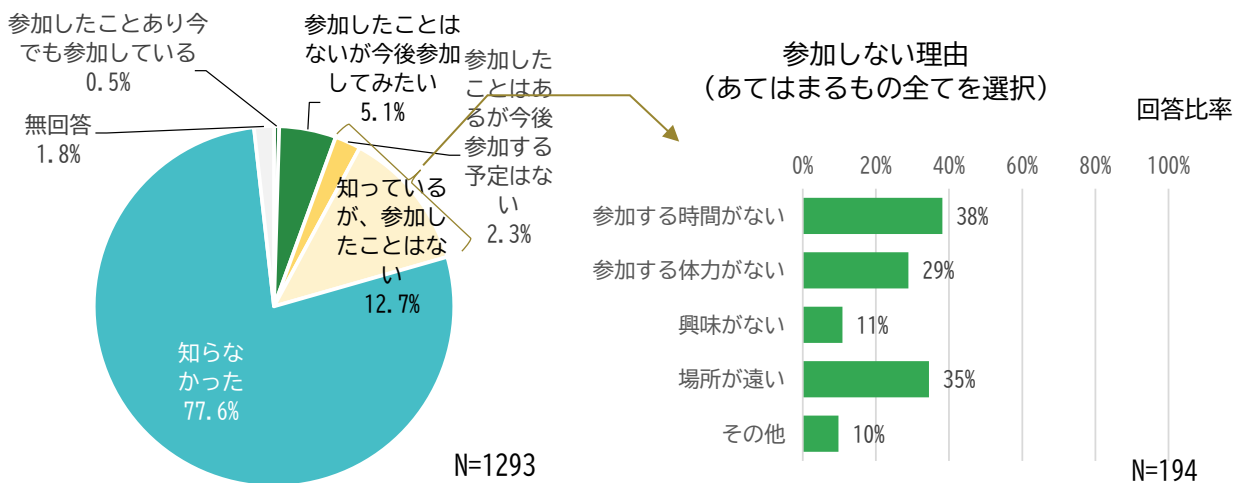
「育てていない」人の中では、育てたくない人は 35%となっています。欲しいサポートとしては、苗木の供給が 22%、育て方の講座、補助金の交付がそれぞれ 16%となっています。



- 講習会や観察会、緑化相談に参加したことはありますか？

「参加したことがあり今でも参加している」「参加したことはないが今後参加してみたい」併せて 5.6%となっています。

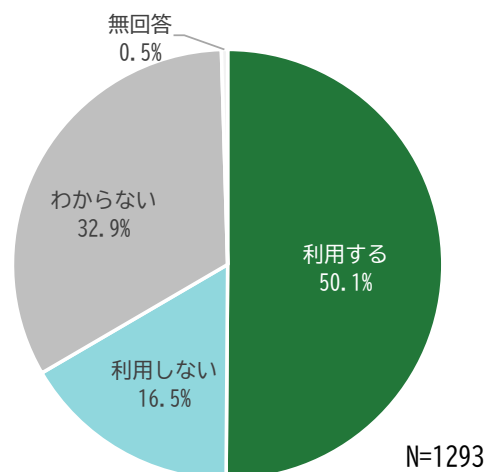
「参加したことはあるが今後参加する予定はない」「知っているが、参加したことはない」は合わせて 15.0%となっています。今後参加しない、参加したことがない理由としては、参加する時間がないが 38%、場所が遠いが 35%、参加する体力がないが 29%となっています。



## 4) パークマネジメントについて

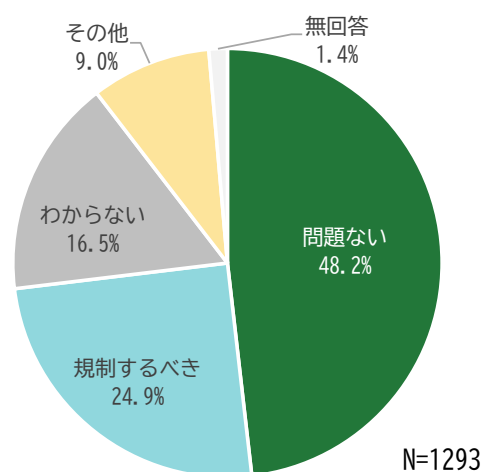
## ■ 公園にキッチンカーが来たら利用しますか？

「利用する」が50%、「利用しない」が17%となっています。利用しない理由としては、「周辺の売店等で十分」が57%、「金額が高い」が30%となっています。



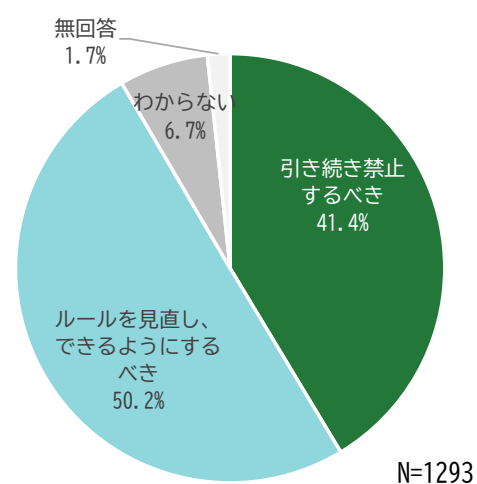
## ■ 公園で、特定の事業者が営利目的の活動（物品販売等）をすることについて、どのように思いますか？

「問題ない」が48%、「規制するべき」が25%となっています。



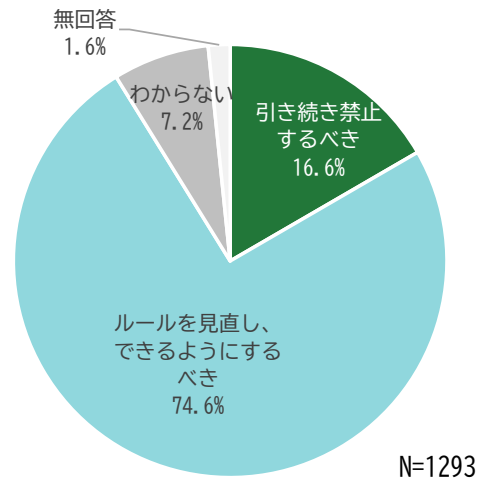
## ■ 公園内で「花火」をできるようにすることについて、どのように考えますか？

「引き続き禁止するべき」が41%、「ルールを見直し、できるようにするべき」が50%となっています。



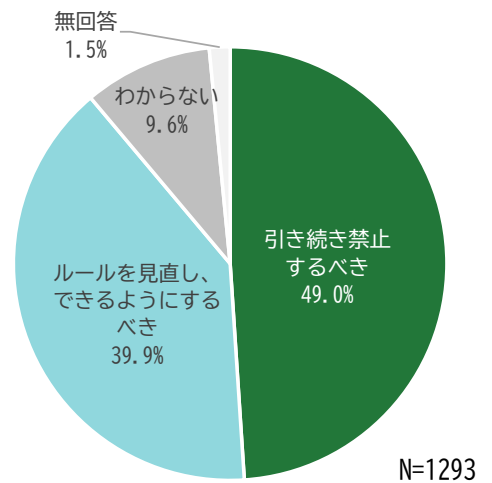
- 公園内で「ボール遊び」をできるようにすることについて、どのように考えますか？

「引き続き禁止すべき」が17%、「ルールを見直し、できるようにするべき」が75%となっています。



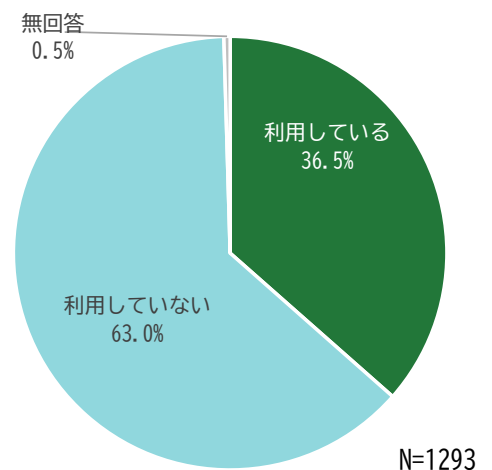
- 公園内で「自転車の乗入れ」をできるようにすることについて、どのように考えますか？

「引き続き禁止すべき」が49%、「ルールを見直し、できるようにするべき」が40%となっています。



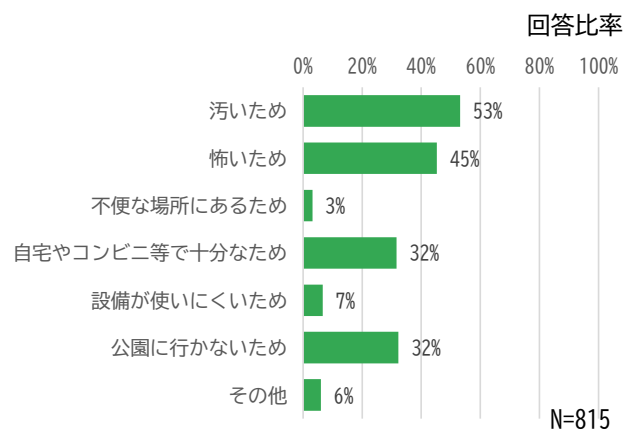
- 公園のトイレは利用していますか？

「利用している」が37%、「利用していない」が63%となっています。



- 公園のトイレを利用していない理由を教えてください。(あてはまるもの全てを選択)

「汚いため」が53%、「怖いため」が45%、「自宅やコンビニエンスストア等で十分なため」、「公園に行かないため」がそれぞれ32%となっています。



### 3 みどりに関する子どもの意識

#### (1) 緑に関する子どもアンケート概要

- 緑の基本計画改定に向け、将来の板橋区を担う子どもたちの緑に関する意識を調査し、計画に反映するため、区の祭事に参加した子どもたちにアンケートを行いました。
- アンケートは全9問で構成されており、問1～問2が「みどり」に関する調査、問3～問8が「公園」に関する調査となっています。また問9は回答者についての質問となっています。
- アンケートの概要と子どもアンケート結果は以下の通りです。

表 子ども向けアンケート調査の概要

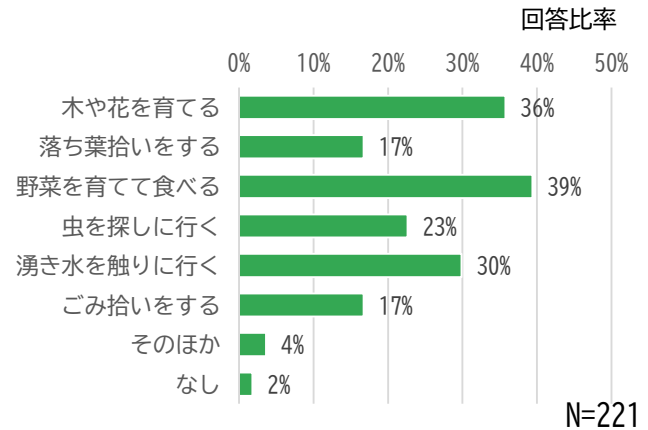
調査期間	令和6年10月19日・20日（板橋区民まつり） 11月9日・10日（板橋農業まつり）	
調査対象者	区内在住の幼稚園児～中学3年生	
調査方法	調査員による聞き取り調査	
回収数	総合計 221 通回収	
	実施祭事、実施日	回収数
	板橋区民まつり（10月19日（土））	59 票
	板橋区民まつり（10月20日（日））	52 票
	板橋農業まつり（11月9日（土））	54 票
	板橋農業まつり（11月10日（日））	56 票
合計	221 票	

## (2) アンケート結果（抜粋）

### 1) みんなと一緒にやってみたいこと

- みどりと接する取組として、あなたがみんなと一緒にやってみたいことは何ですか？（あてはまるもの全てを選択）

「野菜を育てて食べる」ことや、「木や花を育てる」ことが全体の40%近くに上っています。

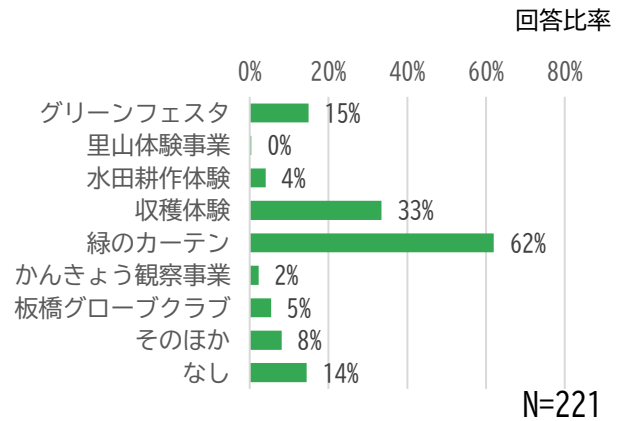


### 2) 区の実践の認知度

- みどりと接する板橋区の実践について、知っているものはありますか？（あてはまるもの全てを選択）

「緑のカーテン」は62%の子どもが知っています。学校で行っていることから、認知度が高いものと考えます。次いで「収穫体験」が33%、「グリーンフェスタ」が15%と続いています。体験したことのある実践で認知度がある一方、体験したことのない実践の認知度が低い傾向があります。

知っているものがなかった子どもも14%(32人)存在しました。



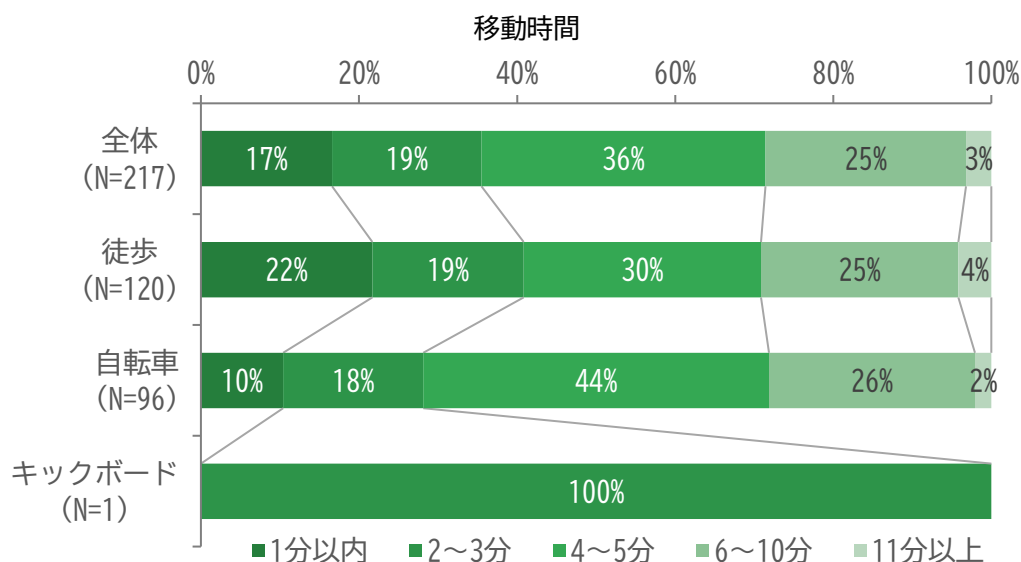
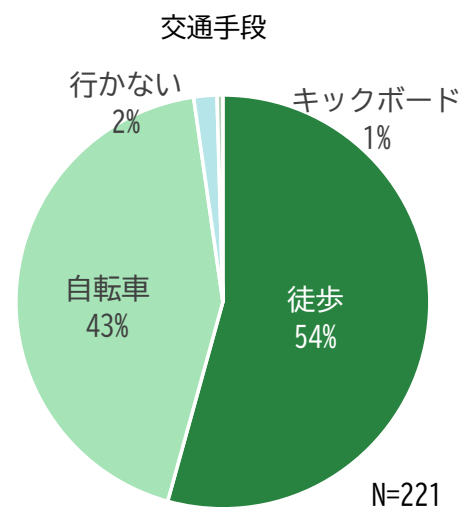
### 3) 公園について

■ 普段遊んでいる公園は、おうちからどれくらいで行けるところにありますか？

交通手段では自転車よりも徒歩の方がやや多い結果となりました。その他は5名おり、そのうち4名は公園で遊ばない人、1名はキックボードでした。

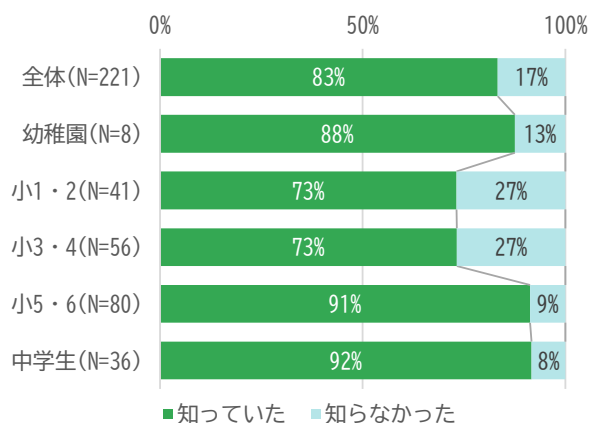
移動時間では3分以内、4～5分がそれぞれ36%ずつで、5分以内が72%に上ります。6～10分も25%おり、全体の97%が10分以内です。

交通手段別では自転車は徒歩と比べて、3分以内の割合が下がり、4～5分の割合が上がります。徒歩3分と自転車1分を同等と考えると、徒歩3分以上の距離になると、自転車を使う人が出始め、徒歩10分以上（自転車3.3分以上）になると、ほぼ自転車となると考えることができます。



■ 公園で花火ができないことは知っていましたか？

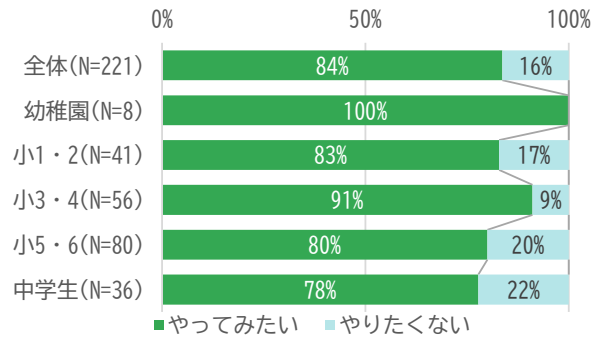
子どもたちの83%は花火が禁止されていることを知っています。



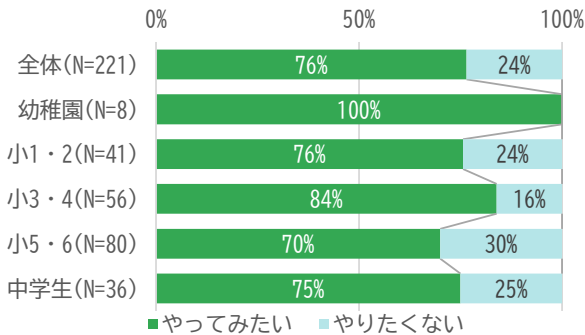
■ ルールがあっても<sup>はなび</sup>花火を<sup>おも</sup>したいと思いませんか？

どのルールについても 80%前後の子どもたちはやってみたいと回答しています。このうち、夜8時までなら可という条件については、他の2つよりも賛同率が低くなります。

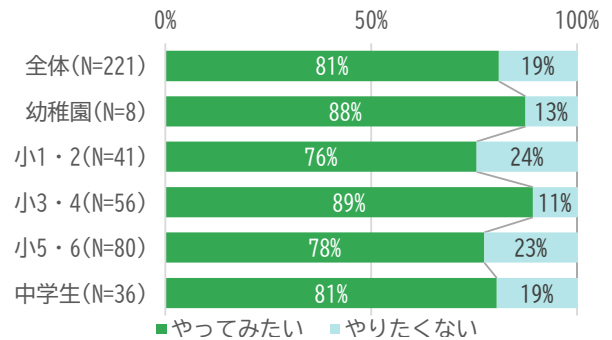
大人と一緒に<sup>お</sup>こなす条件



夜8時までなら可能という条件



特定の日のみ可能という条件

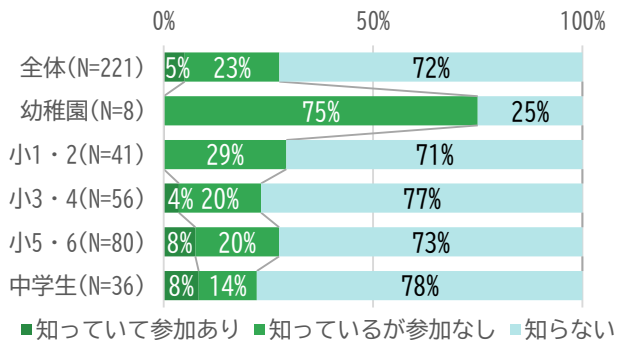


4) こども動物クラブについて

■ 「こども<sup>どうぶつ</sup>動物<sup>し</sup>クラブ」を知っていますか？

こども動物クラブの認知度は28%、そのうち参加したことがある子どもは5%となっています。参加したことがない子どもは23%となっています。

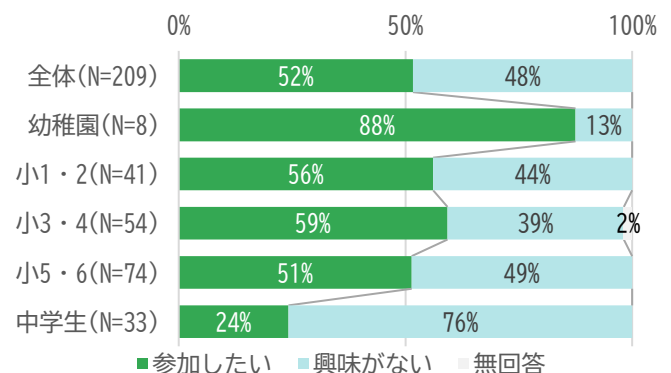
学年が上がるにつれて、参加したことがある子どもの割合が上がります。



■ こども動物<sup>どうぶつ</sup>クラブに<sup>さんか</sup>参加してみたいと思いませんか？

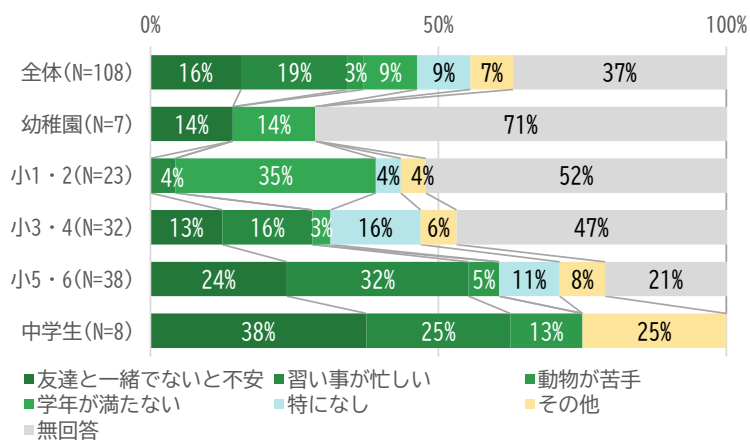
こども動物クラブを知らない、もしくは参加したことがない95%の子どもたちのうち、約半数は参加したいと回答していることから、こども動物クラブの知名度向上により参加者が増える可能性があるものと考えられます。

ただし、学年が上がるにつれて、参加意向の割合が下がります。



■ こども動物クラブに参加できない理由があったら教えてください。

「習い事が忙しい」が19%、「友達と一緒にないと不安」が16%となっています。一方、「特になし」と回答した人も9%に上っています。



## 4

## 計画の策定経過

## 【計画策定経過】

年月	内容
令和6年10月19・20日	緑に関する子どもアンケート（板橋区民まつり）
令和6年11月1日～15日	緑に関する区民アンケート
令和6年11月9・10日	緑に関する子どもアンケート（板橋農業まつり）
令和6年11月29日～12月6日	第1回改定委員会（学識経験者等）
令和6年12月2日～6日	第1回庁内検討会（課長級職員）
令和6年12月24日	庁議（連絡調整会議）
令和7年1月22日	第2回改定委員会（学識経験者等）
令和7年2月18日	都市建設委員会
令和7年4月7日～11日	第2回庁内検討会（課長級職員）
令和7年5月1日	第3回改定委員会（学識経験者等）
令和7年6月2日	第4回改定委員会（学識経験者等）
令和7年6月26日～7月3日	第1回ワーキンググループ（係長級職員）
令和7年7月10日～17日	第3回庁内検討会（課長級職員）
令和7年8月27日	第5回改定委員会（学識経験者等）
令和7年10月21日	庁議（連絡調整会議）
令和7年11月6日	都市建設委員会
令和7年11月10日～24日	パブリックコメント
令和7年12月3日～10日	第2回ワーキンググループ（係長級職員）
令和7年12月24日	第4回庁内検討会（課長級職員）
令和8年1月29日	第6回改定委員会（学識経験者等）
令和8年3月26日	庁議（経営戦略会議）
令和8年4月16日	都市建設委員会

## 【板橋区緑の基本計画改定委員会委員名簿】

学識経験者	委員長	池邊 このみ	千葉大学グランドフェロー	改定部会 部会長
	委員	萩野 一彦	株式会社ランドプランニング代表取締役 千葉大学 客員教授	同 部会員
	委員	佐藤 留美	特定非営利活動法人NPO birth (バース) 事務局長	同 部会員
区民委員	委員	山口 総香	板橋区緑と公園の推進会議構成員	
	委員	高田 美種	板橋区町会連合会 副会長	
	委員	大塚 かな	板橋区立小学校 PTA 連合会 ピーポー110 番委員会委員長	
	委員	篠原 ゆり子	板橋区緑と公園の推進会議構成員	
	委員	春日 隆	板橋区緑と公園の推進会議構成員	
	委員	水村 由貴子	板橋区緑と公園の推進会議構成員	
	委員	関 明子	板橋区緑と公園の推進会議構成員	
区職員	委員	西山 寛利	板橋区緑と公園の推進会議構成員	
	委員	宮津 毅	土木部長	
	委員	岩田 雅彦	資源環境部長	～令和7年3月
	委員	雨谷 周治	資源環境部長	令和7年4月～
	委員	内池 政人	都市整備部長	
	委員	田島 健	まちづくり推進室長	
	委員	林 栄喜	教育委員会事務局次長	

【板橋区緑の基本計画改定庁内検討会】

部署	職名	備考
土木部	土木部長	
	土木計画・交通安全課長	
	管理課長	
	工事設計課長	
	みどりと公園課長	事務局
	南部土木サービスセンター所長	
	北部土木サービスセンター所長	
	かわまちづくり計画担当課長	
	公園整備担当課長	
政策経営部	政策企画課長	
	ブランド戦略担当課長	
総務部	総務課長	
危機管理部	防災危機管理課長	
区民文化部	地域振興課長	
	スポーツ振興課長	
産業経済部	産業振興課長	
	くらしと観光課長	
	赤塚支所長	
健康生きがい部	長寿社会推進課長	
福祉部	生活支援課長	
	障がい政策課長	
子ども家庭部	子ども政策課長	
資源環境部	環境政策課長	
都市整備部	都市計画課長	
まちづくり推進室	まちづくり調整課長	
	地区整備課長	
	鉄道立体化推進課長	
	高島平まちづくり推進課長	
教育委員会事務局	教育総務課長	
	指導室長	
	新しい学校づくり課長	
	生涯学習課長	
	史跡公園担当課長	

## 5

## 用語解説

用語	解説
あ 行	<p>公園、広場、道路空間といった公共空間で行われる、にぎわいや交流を生み出す様々な活動のことです。</p> <p>公園でのイベントやスポーツ、レクリエーション活動などに加え、国土交通省が推進する「ウォーカブル（居心地が良く歩きたくなる）なまちづくり」では、道路空間にオープンカフェやベンチを設置して滞在できるようにしたり、路上でマルシェや催しを行ったりすることも含まれます。</p>
E B P M (証拠に基づく政策立案)	<p>Evidence-Based-Policy-Making の略です。</p> <p>アンケート結果や利用データなどの客観的な証拠（データ）にもとづいて、政策や事業の計画を立て、実行していくことです。</p>
ウェルビーイング (Well-Being)	<p>ウェルビーイングとは、身体的、精神的、社会的に満たされた状態を指します。</p> <p>健康で幸福な生活を送ることができることを意味し、地域づくりや政策においても重視されています。</p>
ウォーカブル	<p>ウォーカブルとは、歩行者に優しい環境を指し、歩きやすく、居心地の良い空間を提供することを目的としています。</p> <p>地域の活性化や健康促進に寄与します。</p>
雨水浸透施設	<p>雨水を地面に浸透させることにより、下水道管などへの水の集中を緩和し、自然の水環境を回復させるための施設です。</p> <p>雨水浸透ます、雨水浸透トレンチ、透水性舗装、雨水浸透側溝などがあります。</p>
エコロジカルネットワーク	<p>都市生態系の保全・再生を図るため、都市全体を対象に、生物の生息・生育空間となる緑を核として、都市内に点在する自然や緑地をネットワークとして連結するシステムです。</p>
SDG s	<p>Sustainable-Development-Goals（持続可能な開発目標）の略です。2030年までに、より良い世界をめざすための17の国際目標です。</p>

用語		解説
	NPO	Non-Profit-Organization（非営利組織）の略称です。医療・福祉や環境保全、災害復旧など様々な分野で活動する民間の非営利組織の総称です。
	エンゲージメント	SNSの投稿に対する反応を指します。反応にはコメントやいいね、シェア・リポスト（転送）、保存、プロフィールやリンクへのクリックがあります。
	オープンスペース	公園、広場、河川、湖沼、山林、農地など、建物によって覆われていない土地で、交通用地を除いたものの総称です。 一般的には、都市公園・広場などの公共空地を示す言葉として用いられています。
か 行	カーボンニュートラル	二酸化炭素（CO <sub>2</sub> ）などの温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることです。
	回遊性	まちの中を人々が巡り歩きやすい度合いのことです。回遊性が高いまちは、にぎわいや発見があり、歩くことが楽しくなります。
	強剪定	樹木の枝を、短く、太い部分で切り詰める剪定方法のことです。効率を重視するあまり、樹木の見た目を損なったり、木陰を減らしてしまったりすることが課題となる場合があります。
	共創	区民、事業者、行政などが対等なパートナーとして、それぞれの役割を分かち合い、共に考え、行動することで、新たな価値を創り出していくことです。
	協働	区民、事業者、行政などが互いに協力し合い、共通の目標に向かって活動することを指します。地域の課題解決やまちづくりにおいて重要な概念です。
	グリーンインフラ	道路や水道のような社会基盤（インフラ）と同じように、みどりが持つ防災や環境、健康などの様々な機能を、まちづくりに活かしていく考え方です。

用語	解説
地域貢献	<p>民間事業者などが大規模なマンション建設や市街地開発を行う際に、その事業の一環として、誰もが利用できる公園や広場、通路などを整備し、提供することです。</p> <p>地域の環境や利便性の向上につながります。</p>
コーディネート機能	<p>みどりづくりに関わる区民、事業者、団体、行政などをつなぎ、連携・協働が円滑に進むように調整・支援する役割のことです。</p>
公民連携（Public-Private Partnership）	<p>公（行政）と民（区民、事業者、団体など）が、お互いの強みを活かして協力し、まちづくりなどを進めていくことです。</p>
景観形成重点地区	<p>景観計画の対象区域のうち、特に良好な景観の形成を図る必要があると認める区域で、地区独自の景観に関するルールを定めます。</p>
さ 行 市街地再開発事業	<p>老朽化した建物が密集していたり、道路や公園などの公共施設が不足していたりして都市機能が低下している市街地において、土地の利用をより合理的で健全なものにし、都市機能を新しく向上させることを目的とした事業です。</p>
指定管理者制度	<p>公園や体育館といった公共施設の管理・運営を、民間事業者やNPOなどの団体に代行してもらう制度です。</p> <p>民間のノウハウを活かした、質の高いサービス提供などが期待されます。</p>
樹冠	<p>一本の木の、枝や葉が茂っている部分全体のことで、樹冠が豊かに広がることで、夏には涼しい木陰をつくってくれます。</p>
蒸発散（蒸散作用）	<p>植物の葉などから、水分が水蒸気となって放出される現象です。</p> <p>蒸散作用の時に発生する気化熱によって、周囲の温度を低下させる作用があります。</p>
森林環境税・ 森林環境譲与税	<p>国内の森林を整備・保全するために創設された税金です。</p> <p>「森林環境税」として国民が負担し、その税収が「森林環境譲与税」として板橋区などの自治体に配分され、みどりを守る活動などに活用されます。</p>

用語		解説
	生産緑地地区	市街化区域内にある農地のうち、良好な生活環境を確保するため、法律に基づき計画的に保全することが定められた地区です。
	生物多様性	生き物たちの豊かな個性とつながりのことを言います。多様性には森林、里地里山、河川、湿原、干潟、サンゴ礁などいろいろなタイプの自然があることを示す生態系の多様性、動植物から細菌などの微生物にいたるまで、いろいろな生き物がいることを示す種の多様性、同じ種でも異なる遺伝子を持つことにより、形や模様、生態などに多様な個性があることを示す遺伝子の多様性の3つのレベルがあります。
	ゼロカーボン (Zero Carbon)	二酸化炭素などの温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と森林などの吸収源による除去量との間の均衡した状態。本計画では、みどりを持つCO <sub>2</sub> 吸収・固定の力を活かすことで、その実現に貢献するとしています。
た 行	地球温暖化	人間活動の拡大により、大気中の二酸化炭素・メタンなどの温室効果ガスの濃度が増加し、地表面の温度が上昇することです。 海面の上昇や異常気象の増加、生態系への影響や砂漠化の進行など、様々な影響が懸念されます。
	中間支援組織	行政と地域の間にとって様々な活動を支援する組織のことです。多くはNPOへの支援などを主目的として発足しているケースが多いです。
	DX (デジタル・トランスフォーメーション)	デジタル技術を使って、私たちの暮らしや行政サービスなどを、より便利で豊かなものに変えていくことです。
	特別緑地保全地区	都市の良好な自然環境を維持するため、法律に基づき特に重要な地区として指定された緑地です。 建物の建築などの行為が制限されます。
	トライアル・サウンディング	自治体などが持つ公共施設や土地の有効活用策を探るため、公民連携 (PPP) 事業の前段階として、民間事業者などにお試しで一定期間、実際に事業を試してもらう仕組みのことです。

用語		解説
な 行	ネイチャーポジティブ	ネイチャーポジティブとは、生物多様性の保全と回復をめざす考え方で、自然環境を積極的に守り、改善していくことを指します。協働で取り組むべき重要な目標の一つです。
は 行	P a r k - P F I 制度	都市公園において飲食店、売店などの公園施設の設置又は管理を行う民間事業を、公募により選定する手続き（公募設置管理制度）です。事業者が設置する施設（公共還元型収益施設）から得られる収益を公園整備に還元することを条件に、建蔽率や占用物件の特例などがインセンティブとして適用されます。
	パークマネジメント	公園を上手に使いこなし、その価値を最大限に引き出すための運営術のことです。区民や事業者と連携し、公園を地域の宝物にしていくための考え方や仕組みを指します。
	バリアフリー	高齢者・障がい者などが社会生活をする上で障壁（バリア）となるものを除去することです。物理的、社会的、制度的、心理的な障壁など、全ての障壁を除去するという考え方です。
	ヒートアイランド現象	人工排熱の増加と地表面の人工化により、都市部の気温が周辺部よりも島状に高くなる現象です。
	PPP/PFI (ピーピーピー/ ピーエフアイ)	公共施設の整備や運営に、民間の資金やノウハウを活かす仕組みのことです。「公民連携」の代表的な手法です。 PPPは (Public-Private-Partnership) パブリック・プライベート・パートナーシップの略です。 PFI (Private-Finance-Initiative) はプライベート・ファイナンス・イニシアティブの略です。公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に、民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うことで、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を行う事業です。
	ビオトープ	野生生物の生息可能な自然環境を復元するための場所です。
ま 行	まちづくりGX (まちづくり・グリーン・トランスフォーメーション)	気候変動への対応や生物多様性の確保、Well-Being の向上といった社会状況の変化に対応するための都市緑地の多様な機能の発揮を図るものです。
	マルシェ	フランス語で市場のことです。

用語		解説
や 行	屋敷林	農家などの屋敷の周囲を取り囲む林で、防風、遮光、防火などの機能のほか、落ち葉などによる燃料や堆肥の調達場としての機能も持ちます。
	ユニバーサルデザイン	障がいの有無、年齢、性別、国籍などに関わらず、できるだけ多くの人が利用可能であるように、建物、空間をデザインすることです。
ら 行	レインガーデン（雨庭）	地上に降った雨水を下水道に直接放流することなく一時的に貯留し、ゆっくりと地中に浸透させる構造を持った植栽空間です。



9つのめざす姿  
(環境)のシンボル

板橋区基本構想において、区が将来像  
「未来をひらく 緑と文化のかがやくまち “板橋”」の  
実現に向けて掲げた「9つのめざす姿」を  
視点ごとに象徴したものです

いたばしグリーンプラン 2035

編集 板橋区土木部みどりと公園課

〒173-8501 板橋区板橋二丁目 66 番 1 号

TEL 03-3579-2525 FAX 03-3579-2547

d-koen@city.itabashi.tokyo.jp

令和8年3月発行

刊行物番号 RXX-XXX



板橋区  
ITABASHI

みんなに かけ橋